

行事を通して「ともに、輝く。」 校長 石村直義

二学期が始まり、二つの大きな行事を終えました。直前の台風通過で準備や開催日程に影響を受けた「活水祭」でしたが、予想をはるかに超える大勢の来校者をお迎えして一般公開がされ、チャペルでの団体発表をはじめ、教室での企画や展示、学習成果の発表、芝生広場のキッチンカーなど多彩な展開によって大いに盛り上がりました。生徒会役員の皆さんをはじめ、クラス・各団体の文化祭の係、また正面玄関で来場者を迎えてくれた中一の皆さん等々、企画・運営に携わってくださったスタッフの皆さんにも改めて感謝します。PTA役員の皆様、活水同窓会の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。同時に第2回オープンスクールも行われ、中学生や小学生、またそのご家族の来校があり、活水祭を楽しんでいただきながら活水中・高の様子、在校生の熱心な活動や笑顔を見ていただきました。

続いて第125回「体育大会」。総練習との連続日程で大会当日の準備が最小限で済み、プログラムも増え、体育館開催初回の昨年よりもぐっと充実した内容の大会になりました。学年別の趣向を凝らした競技、仲間とバトンを繋いで競う各種のリレーでは真剣な疾走と互いへの声援、クラスや学年のまとまりで練習を重ねた末に披露された演技では全身の動きの妙も然ることながら皆さんの笑顔が、それぞれ印象的でした。今年で105回目のメイポールダンスでは、制服をきちんと着て凛としたリズム感ある動きによって次第に編まれていくリボンが最後にしっかりと仕上がったフィナーレに、会場全体が感動に包まれました。各種の大会運営係として任された仕事を誠実に又にかやかに遂行する様子に活水生のすばらしさを覚えめました。随所に生徒の皆さんの爽やかで満足感に満ちた笑顔が輝いていたことが、何より嬉しいことでした。

日々の授業を中心として積み上げられていく学びの力と共に、行事を通して育まれる支え合いや友好、協働によってつくりあげたという達成感や満足感、学校教育によって生み出される大切な力となって一人ひとりに宿ります。自分一人では生み出すことができない実りがあります。それはまさに、「ともに、輝く。」姿です。

**秋の**  
**オープンスクール**  
**10月12日(土)**  
 午前 中学校  
 午後 高校  
 一緒に楽しい時を  
 過ごしましょう  
 ※詳細はHPにて。

4月	3日	2日	11月	31日	30日	29日	25日	24日	17日	16日	14日	12日	11日	9日	8日	7日	10月	
振替休日	文化の日・Ⅲ模試	ⅡⅢ模試	行事予定	(木) 生徒修養会	(水) 高校生徒総会	(火) 第2回スペコン・木曜授業	(金) 第2回漢字検定	(木) 中学生徒総会	(木) 40分授業⑦カット	(水) 高校生徒会役員改選立候補区切	(月) スポーツの日	(土) 第3回オープンスクール	(金) 40分授業オープンスクール準備	(水) 高1活水女子大説明会	(火) 高校生徒会役員改選告示	(火) 表彰・壮行会 特別時間帯	(月) 高Ⅲ小論模試	行事予定

## 第125回体育大会

### 中学大玉転がし

中学生全員で大玉転がしを実施いたしました。この大玉転がしはプログラム最後の競技で中学生だけではなく会場にいる皆さんで盛り上がることができました。全長2m以上の大玉を2人でコントロールしながら運ぶ競技です。生徒たちは、大玉のコントロールに苦慮しながらも笑顔で取り組んでいました。一生懸命2人で大玉をコントロールしている姿はとても楽しそうでした。

(江上晴香)



### 高1 創作民舞・デカパン競争

創作民舞は59回目の活水音頭とマツケンサンバ、サザエさんの3曲を踊りました。各クラスから選出された民舞委員がクラス全員を踊れるように指導しました。各自が浴衣を着て、工夫した装飾を施したうちわを持って踊る姿はとてかわいらしいものでした。デカパンリレーはクラス対抗でデカパンに二人ずつ入ってトラックを1/4ずつ走りました。みんな勝ち負けよりもクラスで楽しく競技ができたことに充実感を持っていました。

(平野智也)



### 高2 創作ダンス・玉入れ

高校2年生のダンスは、1学期から取り組み、沢山の練習を重ね披露しました。全体のダンスのダンスホールとターコイズは、4クラスでまとまりある内容で、2年生らしい作品となりました。各クラスのダンスは、ダンス委員が中心となり、クラスらしい楽しい作品でした。団体競技は玉入れでした。授業で数を重ねることに入数が多くなり、各クラス作戦を立てながら頑張りました。

(向井杏奈)

1位 Aクラス 2位 Bクラス 3位 Cクラス 4位 Dクラス



### 高3 仮装競技

今年度から、仮装競技は演技のみで競うことになりました。生徒たちはクラス担任を仲間に入れてくれ、それぞれのキャラクターを活かしたストーリーと仮装内容を企画していました。観客に楽しんでもらい、自分たちも楽しめる競技にしようと頑張りました。準備時間が少ない中、クラスのみみんなで団結して取り組んだ「仮装競技」は、この先もずっと忘れられない思い出となることでしょう。また、高Ⅲ担任全員から、「こっそりと一緒に練習した時間はとても楽しかったです。ありがとう！」と伝えたいです。

(増田康子)



# メイポールダンスを終えて

私にとってのメイポールダンスは、活水での最高学年の象徴となる芸術作品のようなものでした。静かで厳かな雰囲気の中、メイポールダンスという伝統ある芸術作品の一片に携われて活水生であるということに誇りを持ちました。  
(ⅢA英 福崎 志保)

中学1年生の頃からずっと憧れていたメイポールダンスを、ついに自分が踊る番になりました。メイポールダンスは、1人だけが努力しても上手いきません。同じポールのみんで息を合わせる必要があります。また、花輪の中学生やポールを支える後輩たち、観客席で温かく見守ってくれた保護者の方、全ての人に感謝の気持ちで一杯です。  
(ⅢA特 小島 穂花)

私はメイポールダンスのリボン縫いに参加し、準備から本番までずっと大好きな仲間と和気あいあいと活動できました。今回のメイポールダンスで学んだ、互いに支えあい笑顔で取り組むことの大切さをしっかりと心にとめ、今後に活かしていきたいと思いました。  
(ⅢB 鎌田 響笛)

本番は今までの中で1番きれいな綱目になりました。とても嬉しく、感動し、退場するまでの間にたくさんの思い出がよみがえりました。「もう卒業するんだな」と少し寂しい気持ちになりました。それと同時に、この大好きな学年で素敵なメイポールダンスを成功させることができ、活水に入学してよかったとしみじみ思いました。活水での様々な経験を活かし、社会で活躍できる女性になりたいです。  
(ⅢC 増浦 寧)

私の母は活水高校出身で、入学前からメイポールダンスについて話をしてくれていました。そして今、私自身が実際に踊り終え、今までで1番きれいに編むことができました。最高のメイポールダンスを母に見せることができ良かったです。  
(ⅢD 吉田佳乃)

多様性が尊重される今の時代、メイポールダンスを皆で創り上げるのに、どのような意味があるのだろうかと考えさせられる時があります。しかしながら毎年、生徒たちは感動し、達成感を味わい、確実に何らかの影響を受けています。105年間、粛々と変わらず受け継がれてきたこの演技は、変わらないからこそ価値があるのだと思います。  
(増田康子)



# 2024 盛り上がった活水祭 8/31(土)9/2(月)

8月31日(土)、9月2日(月)に活水祭が行われました。台風により予定していた準備時間も無くなり、多くの変更があった中でも、本番にむけて各団体できる限りの準備を一生懸命に取り組んでいました。本来予定していたものとは違う形で迎えることになりましたが、31日の一般公開では、多くの来客の方々にお越しいただきました。2日には校内でチャペル発表を中心とした有意義な時間を持つことができました。各団体の生徒の皆さん、生徒会役員、実行委員の頑張りや多くの教員の協力、そしてPTAの方々のご協力があったからこそ開催できた活水祭でした。たくさんのご協力ありがとうございました。  
(喜明愛土)



## 吹部 交流演奏会

9月15日、天神にある福岡銀行本店にて、福岡、熊本、長崎から中学や高校の吹奏楽部が集まり演奏を披露しました。大変暑い中でしたが、溢れるばかりの人、そして拍手をいただきました。帰りにバイサイドプレイスでも演奏をし、多くの方から良かった！と声をかけてもらいました。大変良い経験になりました。

9月21日、大分でのつはる音の森フェスティバルがあり、招待演奏をさせていただきました。最後に御当地ソングであるめじろんダンスでは、他の高校生もダンスをしていただき大いに盛り上がりました。また、2つの中学校や高校にも訪問をし演奏会や交流会をしました。実りある交流演奏会でした。  
(杉町たまみ)

## マーチングコンテスト金賞！

9月7日島原復興アリーナにて長崎県マーチングコンテストが行われました。8月の吹奏楽九州大会からあまり日にちがなく当日ギリギリまで練習を重ねました。結果は金賞、九州大会への出場権をいただきました。次のステップに向けまたコツコツと練習を積み重ねていきたいと思っています。皆さん応援、よろしくお祈りします。  
(杉町たまみ)



## 大会成績等

〈中・高吹奏楽部〉  
長崎県マーチングコンテスト  
高等学校以上の部 金賞・県代表

〈弓道部〉  
長崎県高等学校新人体育大会  
女子個人 第2位 土肥詠実  
女子団体 第3位 田邊・川田・土肥・山中・中山・川津・深江

〈バレーボール部〉  
ジャパンビーチバレーボールツアー  
アンダーエイジ岡山大会 9月7日・9月8日の部  
共に第3位 三谷(優)・三谷(紗)ペア

〈平和学習部〉  
一般財団法人長崎原爆被災者協議会  
わたしからあなたへ：【被爆者の声を世界へ】  
高校生が作る平和への第一歩 - 紙芝居プロジェクト  
竹内・島田・中村・元川

〈バドミントン部〉  
KTN杯争奪長崎県総合バドミントン選手権大会  
個人シングルス 3位 横山紗英子

(岩永崇史)



## 今月の聖句 「隣人を自分のように愛しなさい」

(マタイによる福音書 22章34節~40節)

今年の夏は、オリンピックが開催され、さまざまな競技で選手たちの「スポーツマンシップ」が話題となり、人々の心を温かくしました。勝利することが何よりも大事だと思われる世界で、負傷した対戦相手のことを思いやり、手を差し伸べ、助け合う選手たちの姿は、まさに聖書の「隣人を愛しなさい」という教えでした。

私たちは、かけがえのない命を神から与えられています。そのかけがえのない命を神のために、自分のために、隣人のために用いることが求められています。まずは、助けを必要としている人の存在に気づき、そっと寄り添うことから始めてみませんか。  
(常泉晶子)